

科 目 名

情報科教育法Ⅱ

Teaching Method of Information processing Ⅱ

3年 後期 2単位

青 木 振 一

概 要

現代社会は、急速な技術革新の時代であり、高度情報化の時代である。産業構造・就業構造の変化が激しいこのような時代に適切に対応するためには、基礎的な知識・技術及び情報活用能力を身につけることが必要である。国際社会を広く展望し、情報科を担当する教員として必要な基礎資質を形成すると共に、情報科の学習指導法について理解を深める。なお実習などの体験学習、問題解決能力・コミュニケーション能力などの課題解決学習を重視する。

目 標

情報科教育法Ⅱでは情報教育を担う人材の養成を目指し、情報教育を行う上で必要となる知識・技術を身に付けさせる。

授業計画

- 1 教材の研究と開発（情報機器の活用）
- 2 教材の研究と開発（情報化と責任）
- 3 課題研究のねらいと指導方法
- 4 学習指導計画案の作成（講義）
- 5 学習指導計画案の作成（実習）
- 6 模擬授業の実施（講義）
- 7 模擬授業の実施（実習）

授業方法

- (1) 各時間ごとのテキストを用意し、講義・質問を行い、実践的な授業を進める。
- (2) 意識調査等を随時行い、情報教育を担当できる人材の育成を目指す。

評価方法

定期試験、単元終了後のレポート、模擬授業、出席を総合して判定する。

教 材

解説情報 編 情報科教育法、大岩 元 他著 オーム社
文部科学省検定教科書 情報A、情報B、情報C

- (1) 高等学校学習指導要領。
- (2) 必要に応じてプリントを配布する。

履修上の注意

- (1) 先習条件として情報科教育法Ⅰを履修していること。
- (2) 毎時間の出席については、とくに重視する。